

新たな年を迎えるにあたり、謹んでご挨拶を申し上げます。また、市民の皆さんにおかれましては、平素より市政の推進に多大なるご支援とご協力をいただき、心より感謝を申し上げます。

さて、昨年8月の市長選挙において、引き続き、3期目の市政を担当させていただくこととなりました。改めて、この重責を胸に刻み日々の職務にあたっております。

これまでの2期8年間を振り返りますと、平成30年7月豪雨災害はじめとする自然災害や新型コロナウイルス感染症、さらには物価高騰といった喫緊の課題への対応を優先せざるを得ない状況がございました。しかしながら、このような厳しい状況の中でも、第一次産業や歴史、文化など、本市独自の地域資源を生かしたまちづくりの礎を築いてまいりました。

一方で、全国的に進行している少子高齢化による人口減少は、本市も例外ではなく、経済活動の縮小、空き家や耕作放棄地の増加、地域コミュニケーションの機能低下など深刻な課題となっています。

こうした状況を踏まえ、3期目では、さまざまな地域資源を大いに活用したまちづくりを力強く進め、UTラン者や新たな移住者はもとよ

り、二地域居住者を含めた関係人口の拡大など、市内外の多くの方から「選ばれるまち」となれますよう引き続き努力を重ねてまいります。

そのための前提として、市民の皆さまが「この地域に暮らしてよかつた」と思っていただけるよう、まちそのものを磨き上げていく必要があると考えており、今後とも、幸福度を意識した施策に取り組んでまいりますので、市民の皆さんにおかれましては、是非ともお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、市民の皆さんにとりまして、新たな年が最良の1年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

宇和島市長
岡原 文彰

新年のご挨拶

年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

今年は「午年」です。「物事がうまくいく」「勢いよく進む」とされ、市議会といたしましても、この勢いに乗り市民の皆さまの期待に応えながら、諸課題に向き合っていきたいと思います。

さて、昨年も日本各地で自然災害が相次ぎ、改めて防災・減災の重要性を実感する1年となりました。宇和島市でも、南海トラフ地震の発生が懸念される中、防災意識の向上と具体的な取り組みの強化が求められています。引き続き防災訓練の充実をはじめとする対策を進め、市民の皆さんとともに安心・安全な地域づくりを進めてまいります。

また昨年は、平成17年8月1日に宇和島市、吉田町、三間町、津島町の1市3町の合併により新しい宇和島市が誕生し20周年という節目を迎えた。この20年間、一つの市として力を合わせて歩みを進めてきました。市民の皆さんに支えられ、これまでの多くの歴史と成果を振り返りながら、未来へ向けた新たな一步を踏み出す契機となつた1年だったよう思います。本年も引き続き、その想いを胸に、さらなる発展を目指してまいります。

市議会では昨年、議員定数を24名から20名に削減する条例が可決し、選挙が実施されました。削減後の議会運営においても、市民の皆さまの声を漏らすことなく地域課題への迅速な対応力を高め、市民の皆さまの代表として、市政に対するチェック機能を充実し、より公正な議会活動に努めてまいります。さらに、少子高齢化や物価高騰による経済の停滞など、市民生活を取り巻く環境は複雑で厳しさを増しておりますが、こうした課題に対し議員間で率直な議論を行い、地域社会の活性化に向けた施策を積極的に提案してまいります。

結びに、2026年が皆さんにとって幸多き年でありますように祈念申し上げます。

宇和島市議会議長

中平 政志